



2025年1月14日

各位

会社名 株式会社くろがね工作所
代表者名 代表取締役社長 田中 成典
(コード: 7997、東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営管理本部長 森 吉武
(TEL. 06-6538-1010)

通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2024年10月15日に公表しました2024年11月期(2023年12月1日～2024年11月30日)の連結通期業績予想および個別通期業績予想と本日公表の同実績に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 連結業績

単位: 百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	7,350	5	60	165	96円86銭
実績値(B)	7,203	△27	19	209	122円92銭
増減額(B-A)	△146	△32	△40	44	
増減率(%)	△2.0	—	△67.4	26.9	
(参考)前期実績 (2023年11月期)	7,180	△139	△178	1,214	713円11銭

(2) 個別業績

単位: 百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	7,345	70	175	102円73銭
実績値(B)	7,197	32	181	106円45銭
増減額(B-A)	△148	△37	6	
増減率(%)	△2.0	△52.9	3.6	
(参考)前期実績 (2023年11月期)	7,155	△150	1,227	720円75銭

(2) 通期業績予想数値と実績の差異の理由

当連結会計年度においては、働き方改革に対するソリューションセールスの拡大や物流施設向け等の特注品の受注が拡大し、医療福祉施設市場向け製品の選別受注の徹底による大口案件の受注減少をカバーする状況が続いておりましたが、第4四半期連結会計期間における売上高が一部案件の納入時期の遅延等もあり、前回発表予想を下回りました。原材料価格や円安による輸入製品価格のコストアップ分の販売価格への転嫁の進捗もあり、売上総利益率が改善したこと等により個別業績においては7期ぶりに営業利益、経常利益ともに黒字となりましたが、連結子会社において、前年の京都工場の津工場への移転に伴う従業員の退職等による生産工程の混乱や退職加算金の支給等による損失の発生について、下半期にかけて状況は改善しましたが、上半期の損失をカバーするには至らなかったこと、並びに、売上高が前回発表予想を下回ったことにより売上総利益が減少したため、連結営業利益及び連結経常利益は前回発表予想を下回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は、2024年11月25日公表の「特別利益の計上に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり保有有価証券の一部を売却したことにより特別利益(投資有価証券売却益55百万円)が発生したこともあり増加しました。

以上